

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習

はむらの 教育



満開の桜の中、4月6日（月）に小学校、4月7日（火）に中学校の入学式が行われました。
今年、小学校に513人、中学校に513人（平成27年4月7日現在）
が入学し、新一年生として学校生活がスタートしました。

二 中 校 区

羽村第二中学校

校長 三浦 利信

伝統と地域の力を活かし、
皆が誇りに思える学校づくり



方 針

生徒、教員、保護者・地域が学校を大切に、互いに尊重し合い、認め合い高め合える、誇りと思える学校づくりを進めます。

取 組

- (1) 生徒が主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます。
- (2) 生徒理解の充実と指導に努め、生徒の自尊感情を高めます。
- (3) 「個々彩々」を大切に、二中校区の小中一貫教育を進めます。

富士見小学校

校長 青山 直志

やさしさいっぱい 富士見小



方 針

先生と子どもたちが互いに信頼し、授業中は勉強に、休み時間は遊びに夢中になって取り組む学校を目指します。

取 組

- (1) 市の教育研究指定校として、算数科の学力向上を目指します。
- (2) 特別支援教室「はばたき教室」を中心とした特別支援教育の充実を目指します。
- (3) チャイムストップを実践し、規律ある生活習慣づくりを目指します。

栄小学校

校長 小山 夏樹

子どもたちの「夢の土台」をつくる
質の高い栄小の教育



方 針

将来の夢につながる基礎（学ぶ力・豊かな心・体力など）を、二中校区小中一貫教育の考え方を通して、しっかりと身に付けさせます。

取 組

- (1) 英語教育の重視、観点別到達度診断テスト・計算タイムの実施
- (2) なかよし班（たてわり班）活動の実施・・・花いっぱい運動
- (3) 「あこがれ夢広場」の実施・・・プロから学ぶキャリア教育

羽村市立小・中 学校 学校紹介

私たちが、明日の羽村子どもたちを、責任を

を担う もって育てます。

羽村市の小・中学校は、小中一貫教育をつくりに取り組み、学ぶ意欲をもち、努力

紹介している内容はその一部ですが、詳しくは

市内全校で進めていく中で、魅力ある学校できる自立した子どもたちを育てます。

各校の学校だよりや公式サイトをご覧ください。

三 中 校 区

羽村第三中学校

校長 淵上 勝則

「みんなの学校」を
目指す実践



方 針

『学び』『学習』を中心に一人一人の生徒、羽村三中にかかわる全ての教職員・保護者・地域の皆さんが主役になる『みんなの学校』づくりを実践します。

取 組

- (1) きめ細かな指導で、基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身に付ける。
- (2) 学ぶことの楽しさを体験・実感させ、学習意欲を高める。
- (3) 学びの機会を充実し、学ぶ習慣を身に付ける。

松林小学校

校長 仙北谷 仁策

「よいこ」がつくる
美しい学校



方 針

子どもたちをいつも中心に据え、教職員が一丸となり、「チーム松林」として、楽しく明るい学校を創っていきます。

取 組

- (1) 日々の授業を充実させるとともに、豊かな体験活動とおして、学ぶ楽しさやできた喜びを感じさせます。
- (2) 運動能力の向上や運動習慣の定着を、家庭・地域と連携して取り組みます。
- (3) 毎月いじめアンケートを実施するとともに、いじめ防止に関する授業を年2回以上実施します。

武蔵野小学校

校長 海東 朝美

自分を大切に、友達を大切に、
一人一人を大切に作る学校



方 針

『かしこく・やさしく・たくましく』今年度は特に「かしこく自分の考えの根拠を示し、自己表現できる子」の育成に力を入れ、学ぶ意欲あふれる活力ある子どもたちの育成を目指します。

取 組

- (1) 基礎・基本の徹底と課題解決学習を推進します。
- (2) 互いを大切にする人権感覚を磨きます。
- (3) 基本的な生活習慣の定着を目指します。

羽村西小学校

校長 田村 文雄

あいさつで心をつなぐ
笑顔の和



方 針

気持ちの良いあいさつをすることで、児童一人一人の心がつながり、みんなが笑顔で学校生活を送れるようにしていきます。

取 組

- (1) 羽村市研究指定校・言語能力向上拠点校における研究テーマ「筋道を立てて考え、表現する子の育成」に取り組むことで、その成果を発表していく。
- (2) くすのき学級の開級に伴い、通常学級との交流を積極的に行う。
- (3) 「家族ふれあいの日～3ゼロの日～」を実施していく。これは月に1回（30日）は電子機器を止めて、静かな環境の中で家族がふれあう機会をつくっていくことです。（3ゼロは「テレビ0、DVD 0、パソコン0」を表しています。）

一 中 校 区

羽村第一中学校

校長 愛甲 慎二

志を立てよ



方 針

目標をもった努力を心がけ、もうひと頑張りができる人になる。少人数授業により英語も学びやすくなります。力をつけて自信をもとう。

取 組

- (1) 言語能力向上を図り、自分の考えをしっかりと話せる生徒を育てます。
- (2) 数学や英語がよく分かるようにします。
- (3) 自分に自信のある生徒を育成します。

羽村東小学校

校長 渡邊 慎吾

「児童・保護者・地域の方々にとって
希望的な存在となる学校」



方 針

児童にとって…児童の切なる願いに応える。教職員にとって…職務を果たす過程で、成功感・達成感が味わえる。学校にとって自分が必要であるという存在感が体得できる。保護者や地域の方々にとって…一人一人の児童や教職員の個性が生きている。魅力ある人格をもった教職員がいる。学習環境・生活環境の安全が保障され、美しく整っている。

取 組

- (1) 「確かな学力」の定着に向けて、児童・保護者・地域の皆様による学校アンケートや各種学力調査などを基に授業の質の向上に努める。
- (2) 算数教室を開催したり、ステップアップタイム・スキルアップタイムを設定したりして、基礎学力を高める。
- (3) 望ましい学習規律・生活規律を確立するために、「あじみこしは」を推進する。

小作台小学校

校長 中村 匠

学ぶ意欲あふれる学校



方 針

言語による活動を通して、自分の考えをもち、豊かに表現できる児童を育成し、学力の向上を目指します。

取 組

- (1) 課題解決学習（アクティブラーニング）の取組を進め、授業改善を図り、学力の向上を目指します。
- (2) 体験から学ぶ活動を通して、コミュニケーション能力の向上を図る。
- (3) 地域人材を活用し、学びを支える特色ある教育活動を展開します。

シリーズ
特別支援教育 ⑭

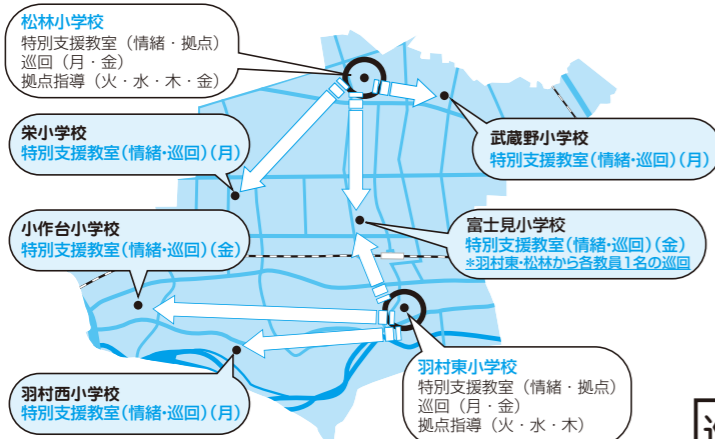
小学校の「情緒障害等通級指導学級」が「特別支援教室」に変わります。

平成26年度 モデル事業の成果と課題

羽村市は、平成24年度から3年間、東京都「特別支援教室モデル事業」の指定を受け、特別支援教室での指導・相談を行ってきました。平成26年度までに、羽村西小学校、富士見小学校、栄小学校、小作台小学校、武蔵野小学校に「特別支援教室」を開設し、巡回校としてお子さんのいる在籍校で指導を受けられるようになりました。「特別支援教室」で拠点校（羽村東小学校と松林小学校）の教員が、巡回校（在籍校）において情緒面や読み書き等の学習面などに困難さがある児童に対して指導・相談を行います。

このことにより、これまで通級指導学級で行われていた指導を全ての小学校でできるようにし、在籍校での個別指導や小集団指導を通して、発達障害児等の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長を図ることが期待できます。

平成26年度 「子どもが動く」から「教員が動く」へ



指導・相談の内容
 拠点校の教員が、週1回特別支援教室のある学校を訪問し、子どもの指導や保護者等の相談を行いました。
 ○特別支援教室での指導（主に個別指導）
 ＊今後は、小集団による指導も行います
 ○学級に入っでの指導や子どもの観察
 ○保護者面談や担任等との話し合い

巡回校の施設整備
 ○学校の既存のスペースを活用した整備
 ＊児童の気が散る物を除き、間仕切り等を整備
 ＊教育相談室としても兼用できるように配慮



＊教室スペースの活用（移動可能なパネルの設置等）



感想やご意見

在籍校・担任 在籍校、在籍学級の状況に応じた指導や支援がしやすくなり、学校内での支援体制が充実してきた。
保護者 同じ環境で安心して学習できる。授業の進度等への心配が少なくなった。
 保護者にとっては、拠点校（現通級指導学級）への送迎の負担が軽減された。
保護者・担任 情緒面等だけでなく、読み書きの困難さがあり学習効果があがりにくい児童についても、支援を行ってもらえた。

今後への期待

- 児童の在籍校で過ごす時間の増加
- 巡回教員による環境や学級への適応状態に応じたきめ細やかな指導
- 発達の課題のある児童の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長
- 在籍校の教員と、巡回教員との情報共有や連携による、指導の充実



平成27年度の取組は・・・

特別支援教室での指導・相談

(在籍校) 体験指導・相談 指導を通じた実態把握 面談等

自校指導

他校指導

① 巡回校
(在籍校)での
指導・相談

② 巡回校・
拠点校での
指導・相談

③ 拠点校
(松林小・東小)での
指導・相談

＊お子さんの通う在籍校と相談や面談を行ったうえで、まずは「体験指導・相談」として在籍校での実態把握や個別等の指導、面談を受けることができます。

その後、お子さんの困り感や困難さ等の状況により、本格的な指導として「①巡回校での指導」や「③拠点校での指導」を受けることとなります。また、「②巡回校での指導と拠点校の指導」を併用することもできます。

今後は「①巡回校（在籍校）での指導」の充実を図ります。

	特別支援教室	
	①巡回校（在籍校）での指導	③拠点校(松林小・東小)での指導
場 所	○学校に設置した「特別支援教室」で指導を受ける。(同じ学校内の教室を活用)	○拠点校に通って指導を受ける。(保護者による送迎)
施 設	○学校内の教室等を活用した施設	○専用施設
教 員	○巡回指導教員2名程度による指導	○教員3～4名と介助員による指導
時 間	○週1～2回 1～2時間程度 (保護者と相談し、状況に応じて決定)	○週1回 4時間程度
指導内容	○学習の補充を行う ○社会性など苦手なことを克服するための指導を行う	○社会性など苦手なことを克服するための指導を行う
指導方法	○個別指導と小集団での指導 ・個別指導 ・状況により小集団による指導 ・学級に入っでの指導	○個別指導と小グループでの指導 ・小グループでの指導を中心 ・個別指導もする

「子どもが動く」から「教員が動く」そして「学校が変わる」

特別支援教室等に関するご相談・手続き等に関するお問合せは・・・

お子さんの通学している学校にご相談ください。または、教育支援課特別支援教育係へ
内線 373

対象となるお子さんについては、左記へお問い合わせください。
なお「はむらの教育」(平成26年11月 No.46)にも詳細を掲載しておりますので参考にしてください。

社会教育関係団体補助の申請を受付けます

市では、学習文化活動やスポーツ・レクリエーション活動などの社会教育活動を行う団体に補助金を交付しています。

対象となる団体

- ・羽村市の教育・学術および文化、スポーツの普及向上に寄与するものであり、かつ公益性を有する団体
- ・誰もが加入でき構成員が5人以上でその7割以上が市内在住および在勤者であること
- ・団体の構成員に代表者、会計担当者、会計監査等（それぞれ異なる人）がおり、自主的に団体運営が行われていること など

申請書の提出期日

平成27年6月3日（水）

補助金に対するくわしい説明、申請書等配布および提出先

学習・文化団体は生涯学習総務課（市役所西庁舎3階）
スポーツ・レクリエーション団体はスポーツ推進課（スポーツセンター内）

羽村市図書館

サークル紹介～その3～

園芸ボランティア「ハーブはむら」

図書館の屋上にあるハーブ園の管理をしているのが、「ハーブはむら」です。屋上からの景色を眺めながら土に触れ、ハーブの香りに包まれて癒しの効果もあります。お天気の良い日は、午前10時から午後5時まで自由に屋上散策ができますので、是非おいでください。

活動日 火曜日グループと水曜日グループの2グループで活動
活動時間 午前10時から11時
活動内容 ・新しい苗の植栽、剪定、草取りなど
 ・年1回の「ハーブ観賞会」
 （ハーブ観賞会では、ハーブティーをサービスしたり、ラベンダースティック作りを指導したりしています。）

※ラベンダースティック：生のラベンダーにリボンを編み込んで作る、香りのするもの。防虫効果もあります。

会 員 募 集 中 土いじりが好きな方、ハーブに興味のある方、男女年齢問いません。一緒にハーブを育ててみませんか？



屋上での活動の様子



ラベンダースティック

ゆとろぎの交流ひろばで催しをしませんか

ゆとろぎの交流ひろばで、日常の活動の成果を発表することができます。このスペースを利用してみませんか。

利用できる方

社会教育関係団体、サークルなど。ただし、公序良俗に反するもの、施設を損傷するおそれのあるもの、入場料の徴収や販売など営利目的のもの、政治・宗教活動のもの、火気その他危険物を使用するもの、観覧制限があるものなどに該当する催事の利用はできません。（利用制限などの詳細はお問い合わせください。）

使用料 無料

利用時間

ゆとろぎ開館日の午前9時～午後5時（準備・撤収時間を含む）ただし、雨天、降雪等の荒天時、ウッドデッキが水濡れ等により危険と判断したときは中止となります。

利用申込

使用する日の3カ月前の月の初日から使用する日の7日前まで

その他

近隣騒音防止のため、事前に音響機器等の音量等を確認させていただきます。

問合せ

生涯学習センターゆとろぎ



AED（自動体外式除細動器）を貸し出します

市内の屋外スポーツ施設などでスポーツや運動の大会を開催する際に、参加者が心肺停止状態に陥ったときの救急救命活動に備えるため、AED（自動体外式除細動器）を貸し出します。

貸出場所 スポーツセンター受付
問合せ スポーツセンター



INFORMATION

生涯学習センター ゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室 ハーモニースクールはむら	Tel 554-1331

教育随想

「Education」という言葉



満開の桜を迎えられ、新しい小学校1年生が入学式を迎えました。3月まで、幼稚園や保育園などに通っていた子どもたちが、すっかり小学生の顔をして立派に入場してきました。その姿を見ながら、成長の早さに驚きと大きな可能性を感じたところです。

Education（教育）という言葉の本来の意味は「引き出す」ことだそうです。教育は、上から詰め込むのではなく、一人ひとりが持っている才能を引き出してやること。入学した新1年生の限らない才能や可能性を各学校で十分に引き出す教育が実践されることを期待しています。

そのためには、集団としての指導だけでなく、マンツーマンでの指導、子ども一人ひとりにしっかり向き合い、話をし、個性や能力を把握することが大切です。

学校教育はもとより、スポーツや文化活動での指導、家庭・地域での教育など、あらゆる生涯学習の場面で「子どもたちの才能と可能性を引き出す教育」を行っていただきたいと思っています。

教育長 桜沢 修

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

体育協会年間事業予定

- 4月18日(土) 第46回羽村市総合体育大会総合開会式
(羽村市委託事業)
- 5月16日(土) 平成27年度NPO法人体育協会通常総会
- 7月26日(日) 第40回はむら夏まつり「パットゴルフ大会」
- 10月11日(日) 第68回市民体育祭 (羽村市委託事業)
- 11月23日(月) 第40回NPO法人体育協会完歩大会
- 1月24日(日) 第29回羽村市ふれあい綱引き大会
- 2月 スポーツカレンダー作成(教育委員会と共催)
- 3月6日(日) 第34回羽村市駅伝大会(羽村市委託事業)

羽村市からの委託事業

- ・富士見公園クラブハウス受付事務委託
- ・スポーツ事業委託
- ・スポーツセンタートレーニングルーム業務委託

体育協会は、昭和38年10月に体育関係団体6団体で設立し、平成16年1月にNPO法人となりました。
現在は、23団体、四、七三七人の会員を有し、市内スポーツの統括団体となっております。

TEL 555-1698

特定非営利活動法人
羽村市体育協会

羽村市文化協会 TEL 080-2558-1010

第10回 羽村市美術・工芸展

市内で活動している文化協会会員31団体200名による400点を超える展示及び文化協会10周年を記念して「はむらを描く」展を開催。ぜひご来場下さい。

- 第2期 西洋画の部 4月28日(火)～5月3日(日)
- 第3期 写真の部 5月12日(火)～5月17日(日)
- 第4期 10周年記念特別企画「はむらを描く」展 5月19日(火)～5月24日(日)
- 第5期 書と篆刻の部 6月9日(火)～6月14日(日)
- 第6期 立体の部(陶芸) 6月16日(火)～6月21日(日)

時間 午前10時～午後5時(但し、各会期初日は午後1時から、最終日は午後4時30分まで)

会場 ゆとろぎ展示室

主催：羽村市文化協会 後援：羽村市教育委員会・羽村市観光協会

第46回羽村市文化祭実行委員会・説明会

日時 5月7日(木) 午後7時～

会場 ゆとろぎ小ホール

文化協会創立10周年記念式典第10回羽村市文化協会総会

日時 5月23日(土) 午後1時～3時(予定)

会場 ゆとろぎ小ホール

※参加希望団体は必ず参加して下さい。